

DVDの所蔵と貸出し等について

1 DVDの所蔵と貸出について

(1) 概要

①平成 28 年度から光が丘図書館で一般ビデオに代わる映像資料としてDVDを所蔵し、平成 28 年 7 月 1 日（予定）から貸出しに供する。

②DVDの貸出しに合わせ、貸出点数を現在の視聴覚資料（CD・カセットテープ・レコード・公共ビデオ・公共DVD）5点＋一般ビデオ1点から、CD等（CD・カセットテープ・レコード）5点＋映像資料（DVD・公共ビデオ・公共DVD）2点に変更する。

※一般ビデオは、原則として平成 28 年 6 月 16 日をもって貸出しを停止する。

※導入当初は資料数が少ないが、続き物の巻数順予約に最低限対応するために貸出し・予約ともに2点とする。貸出期間は他の資料と同じ2週間とする。

※視聴覚資料のうち、公共ビデオ、カセットテープ、レコードの提供については、資料の劣化状況を勘案して近い将来の提供取りやめを検討する。また、公共DVDの形態区分の変更についても検討する。

③上記に対応するために「練馬区立図書館条例施行規則」、「練馬区立図書館資料損害賠償事務実施要領」、「練馬区立図書館資料収集方針」の改訂、および利用案内の差し替え等の手続き・作業を実施する。

④貸出しは、現在の一般ビデオ排架場所に装備済み空ケースを置き、本体および解説書等が入ったスリーブケースをカウンターバックに置く。利用者が貸出カウンターに空ケースを持参して、カウンター職員はスリーブケース内の本体等と差し換えて貸し出す方法を取る。また、練馬区立図書館全館および受取窓口での予約に対応する。移送方法は、CDに準ずる。他自治体図書館との相互貸借は行わない。また、リクエストも受け付けない。

※検索・予約の利便性を高めるため、OPACに大活字本等と同様のタイトル一覧を新設する。

⑤毎月 40 点程度の装備・データ入力済DVDを購入し、利用に供する。平成 28 年度は 500 点程度、以後数年間は 500 点程度の購入を維持していく。

⑥利用者による紛失・汚破損については、原則として購入価格相当の納付書による弁償を求めることとし、その旨ケースに明示する。ただし、貸出回数に対応して弁償金額を減免すること等の措置を検討する。

⑦利用者に対しては、貸出し開始時点でホームページ・図書館だより等で周知を行う。利用案内は変更したものに差し替える。

2 予約通知・督促メールへの資料名表示について

実施する方向で検討を続ける。実施に際しては利用者への十分な周知期間を設ける。

3 資料のデジタル化について

平成 28 年度は、これまで練馬区独立記念周年事業で編まれた練馬区史等の資料をデジタル化する。練馬区独立 70 周年となる平成 29 年 8 月 1 日の練馬区立図書館ホームページでの公開をめざし、データ形式・公開方法を検討する。